

2014年10月16日(木)開催

ITトレンドを追うソフトウェア開発技術者必見シリーズ Vol.2

1時間で語れるようになる

「本当のアジャイル開発手法の概要」

会場：11F ヒカリエカンファレンス

アベノミクス効果の浸透で景気回復のすそ野が広がってきた中、多くの企業が競争優位性を高めるため、あるいは企業が持つ価値のある資産を利用して新規事業を立ち上げるために IT 投資を行うことが重視されています。一方では、企業は、IT 投資を行うにも「IT によってどのように事業の優位性を高めるのか」「新規事業の取り組みに向けて明確な要件の定義ができない」等が原因で、IT 投資の実行に入れられない状況にあります。

それは、現状のシステム開発のプロセスにも大きな課題があり、そのため企業の事業環境の変化や不確定要素に対応ができ、且つ従来のウォーターフォール型の開発手法のように修正コストが膨大にならないような開発手法が求められています。そこで、今注目されている開発手法が、アジャイル開発である。イテレーションを繰り返して、段階的、短期に分けてシステム開発を行うことで、クライアント側が随時システムへの要求を確認しながら全体システムを構築していくことができる開発手法です。

<ITトレンドを追うソフトウェア技術者必見シリーズの第2弾>では、
平鍋健児氏に「今、何故アジャイルなのか？」を語ってもらいます。

講師 平鍋 健児 (ひらなべ けんじ)

株式会社永和システムマネジメント 副社長

株式会社チェンジビジョン 代表取締役社長

1989年東京大学工学部卒業後、3次元CAD、リアルタイムシステム、UMLエディタJUDEなどの開発を経て、オブジェクト指向技術、アジャイル型開発を実践する「見える化」コンサルタントを生業としている。

自分でオブジェクト指向開発を実践していく過程で、テクノロジーからプロセスへ、そしてピープルへとその興味は移っていきました。現在は、「アジャイルな」すべてのものを志向しています。最近の仕事は、マインドマップとUMLの融合エディタ、astah*(アスター、旧JUDE)の開発や新しいアイデアの可能性への挑戦です。

翻訳書として、『アジャイルプロジェクトマネジメント』、『リーンソフトウェア開発』やXP関連の書籍が多数あります。

ちなみに、福井県大野市に住み、お酒と映画とJazzを愛しています。

<開催概要>

開催日時：2014年10月16日(木)

19:00~21:00 (受付18:30より)

会場：150-8510 東京都渋谷区渋谷 2-21-1

渋谷ヒカリエ 11F ヒカリエカンファレンス

東急東横線・田園都市線、東京メトロ半蔵門線・副都心線「渋谷駅」15番出口と直結。JR線、東京メトロ銀座線、京王井の頭線「渋谷駅」と2F連絡通路で直結。

定員：20名

参加費：無料

*講演の後に懇親会(名刺交換会)があります。

主催：キャロルシステム株式会社

協賛：株式会社チェンジビジョン

株式会社メソドロジック

*第三回セミナー予告：11月20日(木)

エンタープライズアジャイル時代のリーンモデリング

株式会社メソドロジック代表取締役 山岸 耕二氏